

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	English Communication 2
科目基礎情報						
科目番号	0138		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	後期:4		
教科書/教材	ENGLISH NOW English Communiation 1 （開隆堂）					
担当教員	鏡 ますみ					
到達目標						
・簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。 ・英語での指示や質問の内容を理解できる。 ・基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。 ・決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を正確に直読直解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章であっても直読直解できない。	
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。		英語での指示や質問の内容を理解できる。		英語での指示や質問の内容を正しく、または全く理解できない。	
評価項目3	基本的な構文を十分に理解し、それを用いて簡単ではあるが正確な英文を書ける。		基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。		基本的な構文を理解できない。それを用いて簡単な英文も書けない。	
評価項目4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話がスムーズにできる。		決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。		決まったフレーズを用いても、自己紹介や簡単な会話ができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	到達目標を目指して、①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②外国語表現の能力、③外国語理解の能力、④言語や文化についての知識、理解などを高める授業を行なう。					
授業の進め方・方法	1 授業は講義と実技が中心となる。 2 各レッスンの扉の写真をしながら、本文の内容について簡単なやり取りをする。 3 新出単語や連語についての発音と意味を確認する。 4 本文の音声を聞き、音読練習を様々なやり方で行なう。 5 扱われている文法事項を確認、理解し、本文理解の助けとする。 6 本文の内容に関する設問に答える。 7 課末の会話表現を利用しながら表現活動を行なう。					
注意点	1 English Communication 2 は半期 2 単位授業である。 2 副教材は『ENGLISH NOW 1 準拠ワークブック』（開隆堂）、『チャンクで英単語Basic』（三省堂）、『チャンクで英単語Basicドリルノート』①②（三省堂）、『アルファフェイバリット英和辞典』（東京書籍）である。『チャンクで英単語Basic』の進み方については、授業中で指示する。 3 提出物は期日を厳守のこと。そうでない場合は減点対象となる。 4 予習と復習は必須であり、指名された際には答えることができるような姿勢で授業に臨むこと。 5 評価割合の「その他」は出席点を意味し、欠席はマイナス1点、遅刻はマイナス0.5点として減点する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	後期授業についてオリエンテーション Let's Communicate 2		後期の授業概要等を理解する。 買い物でよく使う慣用表現を学ぶ。	
		2週	英語のしくみ③ Reading 1 American or Not American?		『白雪姫』の物語を通して、基本的な文構造（SVOO）を理解する。いろいろな文構造で使われる動詞があることを理解する。 速読によって話の概要をつかむ。	
		3週	Reading 1 American or Not American? つづり字と発音		概要を理解した上で、ものの見方の多様性について話し合う。 つづり字を見て、ある程度、発音の見当がつけられるようになるレベルの基礎を養う。	
		4週	時制を整理しよう Lesson 7 Mago no Mise		時の表し方（過去、現在完了、現在、未来）を確認する。現在完了形、現在完了進行形、過去完了形の違いを理解する。 レストランの特徴、運営に携わる高校生の様子、やりがいなどについて理解する。	
		5週	Lesson 7 Mago no Mise		報告や理由を述べる表現、説明したり、気持ちを伝えたりする表現を理解する。 現在分詞、過去分詞の後置修飾、関係代名詞、関係副詞について学ぶ。	
		6週	Let's Communicatie 3 Lesson 8 Communication in Soccer		道案内の場面でよく使う基本表現を理解する。 サッカーにおけるコミュニケーションの大切さを学ぶ。 気持ち、考えや意図を伝える表現について理解する。	
		7週	Lesson 8 Communication in Soccer		形式目的語it、関係代名詞whatについて学ぶ。	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	試験返却、解答 Lesson 9 Mottainai		誤答を訂正できる。 「もったいない」という言葉が、なぜ、どのようにして広まっていったのかを理解する。	
		10週	Lesson 9 Mottainai		「もったいない」という言葉が、なぜ、どのようにして広まっていったのかを理解する。 説明したり理由を述べたりする表現、考えや意図を伝える表現を理解する。	

		11週	Lesson 9 Mottainai Reading 2 The Story of Wangari Maathai	受け身、知覚動詞【SVO+動詞の原形、動詞のing形】について学ぶ。 マータイさんが緑化運動を始めたきっかけを読み取る。
		12週	Reading 2 The Story of Wangari Maathai	この運動の後、ケニアの人々の生活はどのようになり、マータイさんの気持ちはどのように変わっていったのかを理解する。
		13週	Let's Talk about Your Wishes 英語のしくみ④	基本的な仮定法過去の文の意味と用法を理解し、それを用いて、自分の願いや考えなどについて表現する。
		14週	後期授業内容の総復習	1年間で扱った文法事項の総復習を行う。
		15週	期末試験	
		16週	試験返却、解答	誤答を訂正できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	前1
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	1	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	10	0	5	20	5	100
基礎的能力	60	10	0	5	20	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0